

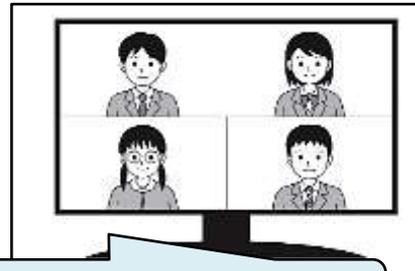
調査問題から見える「授業改善のポイント」＜中学校 国語＞

1三 話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるかどうかをみる問題
 [話すこと・聞くこと] <平均正答率 県 58.9% (全国比+1.8)>

【授業改善のポイント】

調査結果の分析

- ・話し合いにおいて発言する際に、話し合いのやりとりを踏まえて、その発言をする理由を具体的に示すことができなかった生徒は24.4%である。
- ・話し合いの目的を意識し、話題や展開を捉えながら話し合うことに課題がある。



話し合いのやりとりを踏まえて発言の内容を考える

○話し合いの目的を共有したり、話し合っている話題を確認したりする場面を充実する

活動例・多くの発言が出た際や出た意見を整理しながら考えをまとめる段階において、話し合いの目的や話題について確認し合う場面を適宜設ける。

○ICTを活用して、話し合いにおける発言の仕方や内容を振り返る場の充実を図る

活動例・話し合いの様子を動画で記録し、その記録をもとに、話題や展開に沿った話し合いがなされていたかどうかについて検討する。
 ・話し合いの様子を視聴し、話し合いを効果的に進めるためには、どの場面でどのような発言をすればよいか、また、取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかを話し合う。

3四 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題
 [読むこと] <平均正答率 県 25.2% (全国比+4.7)>

【授業改善のポイント】

調査結果の分析

- ・どの表現から登場人物のものの見方や考え方を捉えたのかを、具体的に示すことができなかった生徒は、44.3%である。
- ・文学的な文章を読む際に、描写をもとに登場人物の相互関係や心情を捉えたり、文章を読んで考えたことを、根拠を明確にして説明したりすることに課題がある。



「吾輩」の「黒」への接し方を捉え、自分の考えを書く

○小説などを読んで感じたことや考えたことを具体的に説明する学習活動を充実する

活動例・本を読んだ感想や好きな描写などを記録し、それをもとに本の紹介をし合う。
 ・印象に残った場面を取り上げ、なぜその場面が印象に残ったのかを、描写をもとに具体的に説明する。

○多様な語句について理解を深め、語彙を豊かにする学習活動の充実を図る

活動例・語彙手帳を作成し、日常生活や学習の中で、印象に残ったり使ってみたいと思ったりした語句や表現を書き留め、授業の中で紹介し合う。
 ・興味をもった語句について、意味や用法を調べたり、使用例を考えたりする。